ワールドマスターズゲームズ
2027 KANSAI / JAPAN

ワールドマスターズゲームズ2027関西
大会概要

公益財団法人
ワールドマスターズゲームズ2021関西組織委員会

ワールドマスターズゲームズ とは

ワールドマスターズスポーツ（旧IMGA）が主宰
概ね30才以上であれば誰でも参加でき、4年ごとに開催される

世界最大級の生涯スポーツの国際総合競技大会

参加基準は年齢のみ

**予選なし、
複数種目も登録可能**

**元プロ・アマ選手
問わず出場可能**



誰もがメダリスト候補者！！

初戦から海外参加者との対戦が可能であることもワールドマスターズゲームズの特徴。競技種目は年代別で実施され、各年代別にメダルが授与されます。



ワールドマスターズスポーツ（旧IMGA)とは

WORLD MASTERS SPORT

年齢、性別、人種、宗教、そして競技レベルにかかわらず、スポーツ愛好家同士の友情や相互理解を奨励している世界的なマスターズスポーツの代表団体で、スイスのローザンヌに本拠を置きます。

国際的な総合スポーツ大会を組織すること、スポーツを生涯続けることにより個人の身体能力の向上が可能であることの啓発（世界中の成人に対し定期的にスポーツの実施を促し、マスターズゲームズに参加するよう呼びかけ）を行っています。

本協会の目的は、**“スポーツ　フォー　オール”　～Sport for All～** のオリンピック憲章における哲学の普及を行い、オリンピック・ムーブメントを支持することです。

これまでの開催大会

第1回(1985)	第2回(1989)	第3回(1994)	第4回(1998)	第5回(2002)
トロント <カナダ>	ヘアニング、 オールボー、オーフス <デンマーク>	ブリスベン <オーストラリア>	ポートランド <アメリカ>	メルボルン <オーストラリア>
61か国・8,305人	76か国・5,437人	71か国・23,659人	101か国・11,000人	97か国・24,886人

第6回(2005)	第7回(2009)	第8回(2013)	第9回(2017)	第10回(2025)
エドモントン <カナダ>	シドニー <オーストラリア>	トリノ <イタリア>	オークランド <ニュージーランド>	台北、新北 <台湾>
89か国・21,600人	95か国・28,676人	107か国・19,000人	106か国・28,578人	約 25,000人

第11回(2027)
関西エリア
<日本>
約50,000人（目標）

Point 1 初めての広域開催

Point 2 参加者約5万人目標 過去最大規模の大会

ワールドマスターズゲームズ2027関西概要

1	**開催期間**	2027年5月14日（金）～ 30日（日）の17日間
2	**開催競技**	公式競技 35競技59種目（他 オープン競技実施）
3	**開催場所**	福井県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、鳥取県、徳島県、京都市、大阪市、堺市、神戸市
4	**開催目標**	参加者5万人（国内3万人、国外2万人：150か国・地域以上）
5	**主　　催**	公益財団法人ワールドマスターズゲームズ2021関西組織委員会 開催府県政令市実行委員会及び開催市町等実行委員会
6	**共　　催**	公益財団法人日本スポーツ協会、公益財団法人日本パラスポーツ協会
7	**後　　援**	スポーツ庁

ワールドマスターズゲームズ
2027 KANSAI / JAPAN

エントリー概要

大会参加申込期間

アーリーエントリー ： 2026年1月～

一般エントリー ： 2026年3月～2027年2月末





大会参加者キット

・バックパック（約16L）
・キャップ

大会参加料金

競技出場者： 国内在住 15,000円
国外在住 34,000円

競技関係者： 国内在住 5,000円
サポーター 国外在住 20,000円

参加対象者

概ね30歳以上とし、競技ごとに定める

エントリー状況（2026/10/1現在）

総数	35,322人 うち国内 21,142人 うち国外 14,180人
国･地域別	日本 20,775人 台湾 5,327人 香港 1,280人 豪州 892人 カナダ 831人
競技別 （延べ人数）	水泳（競泳） 11,150人 陸上（T&F） 7,429人 陸上（ﾊｰﾌﾏﾗｿﾝ） 4,364人 卓球 3,351人 ﾊﾞﾄﾞﾐﾝﾄﾝ 2,603人

開催競技種目と競技開催地・会場地【2026年9月時点】



大会概要

■大会基本理念

一人ひとりの挑戦と多様な交流の和をつなげ、地域の独自性や日本の伝統・文化を世界に発信し、次世代に夢をおくる生涯スポーツの祭典を創出する。

■大会テーマ

スポーツ・フォー・ライフの開花
（The Blooming of Sport for Life）

■大会コンセプト・エンブレム

- 個人（個性が輝く）「晴」舞台
  一人ひとりの挑戦と可能性を開く
- 交流（多様性が交わる）「表」舞台
  世代・地域・文化がつながる
- 文化（関西を魅せる）「華」舞台
  関西の魅力と文化を発揮する
- 世界（グローバルを体感する）「大」舞台
  国際色に溢れ感動を共有する
- 未来（将来に伝える）「夢」舞台
  次世代にエネルギーと躍動感をおくる



大会概要

開閉会式

(1)開会式
・開催日　　：2027年5月14日（金）
・会　場　　：京都市岡崎エリア
・プログラム内容　：選手パレード、オープニングパフォーマンス、
大会旗の掲揚、オフィシャルスピーチ、
選手宣誓　など

(2)閉会式
・開催日　　：2027年5月30日（日）
・会　場　　：グラングリーン大阪（大阪市）
・プログラム内容　：オープニングパフォーマンス、オフィシャルスピーチ、
ハンドオーバーセレモニー（大会旗引継ぎ）、
フィナーレ　など

大会マスコット
「スフラ（Sufula）」
　大会のエンブレムである桜をモチーフとするスポーツの妖精で、大会テーマの「スポーツ・フォー・ライフ」の頭文字が名前の由来。
　スポーツを愛する人（する・みる・ささえる）を応援してみんなをハッピーにすることを特技とする。



ボランティア

　ボランティア活動が運営の重要な支えとされることから、各地域で一般ボランティアおよび専門ボランティア（語学、介助等）延べ約27,000人を募集する。募集や研修等は、活動場所および業務内容に応じ、組織委員会および実行委員会においてそれぞれ実施する。

大会概要

交通・宿泊・観光

広域にわたる各競技会場へスムーズに移動できるよう、交通パスやシャトルバスなど、参加者の利便性の向上に向けた取組を行う。また、各開催地の宿泊情報や魅力ある観光資源を大会公式ホームページ等で情報発信することで、滞在中における関西各地への周遊につなげる。

交流の場

各府県・開催地の観光情報等の発信及び参加者同士・参加者と地域との交流促進を目的に、各府県において少なくとも１か所以上の交流の場（マスターズビレッジを含む）を設置する。

誘客

国内在住参加者30,000人、国外在住参加者20,000人の獲得に向け、組織委員会及び府県市実行委員会が連携し、エントリー開始までの準備期間、エントリー受付期間の各段階において、計画的で実効性の高い誘客活動を展開する。

(1)国内誘客
日本スポーツマスターズ、国民スポーツ大会、障がい者スポーツ大会、ねんりんピック大会　等

(2)海外誘客
オーストラリアンマスターズ、パンパシフィックマスターズ、ニュージーランドマスターズ　等

ワールドマスターズゲームズ2027関西の特色



ワールドマスターズゲームズの特徴と楽しみ方



「する」 ~do~

スポーツを愛する人々なら誰でも参加可能！
インクルーシブを実践するオープン型の大会



「みる」 ~watch~

家族や仲間も応援に来る、**世代を超え**
一緒に楽しむスポーツ大会



「ささえる」~Support~

ボランティアとしても参加可能
開催地住民も巻き込んだ大会運営



「集う」 ~gather~

大会参加者同士、ボランティア、地域住民と…
たくさんの**新たな出会いと交流**を生む大会

「楽しむ」 ~enjoy~





「巡る」 ~travel~

大会参加者（国外）の滞在平均15日間
スポーツツーリズムを実践した大会

ワールドマスターズゲームズ2027関西が目指すもの

新しいスポーツ文化の定着

自らの意思で、自らの負担で出場

・３０歳以上であれば、資格も予選もなしで参加できる大会づくり

インクルーシブな考え方を取り入れた大会づくり

・障がい者部門の設定や、健常者と障がい者が共に競う競技の実施

地元の文化、経済との交流、ツーリズムの促進

・オリジナル交通パスの検討
・大会参加者へのおもてなしとして、特別体験プランを各地で企画
・宿泊サイトにより、選択肢の多い宿泊プランの提供

全てのアスリートが参加できる場の提供

・元プロもアマチュアも、同一条件で競い合う大会

インクルーシブな考え方を取り入れた大会づくり

競技面での取組

○障がい者部門での競技の実施　11競技15種目

○健常者と障がい者が共に競う競技の実施

12競技20種目

【参考】過去大会の障がい者競技実施状況
2009年シドニー大会　0競技
2013年トリノ大会　3競技
2017年オークランド大会　8競技

大会運営面での取組

○ ボランティア参加の促進
・障がい者の参加
（障がい者スポーツ団体との連携による）
・障がい者競技等の支援のための参加
（企業や福祉関係団体との連携による）

○ 障がい者への配慮や心配りのできる大会づくりの推進（バリアフリー、手話通訳、音声案内等を検討）

○ 障がい者スポーツ団体との連携による障がい者競技の審判員、指導員の育成促進

乗降船時の介助（肢体不自由者）



フラッグ等による審判実施（聴覚障がい者）



伴走者の参加（視覚障がい者）



過去大会参加者の特徴



過去WMG開催期間中の
国内選手滞在平均日数
9.4日

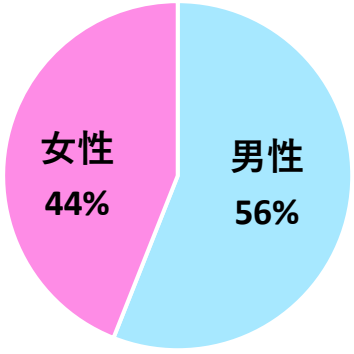
過去WMG開催期間中の
国外選手滞在平均日数
15.8日

出典：WMGガイドラインより

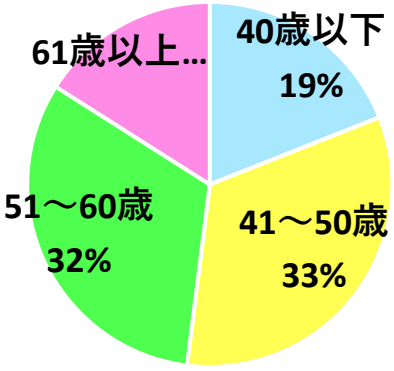
■ **参加者ひとり当たりの同行者数**

２名（関西大会では、
総勢１５万人が入域を想定）

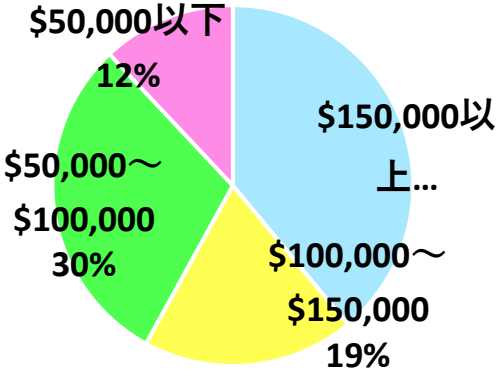
■ **男女分布**



■ **年齢分布**



■ **世帯収入分布**



★日本初開催、欧米豪のリピーター層、ターゲット層の特徴などから考える効果★

- 欧米豪にリピーターが多く、同行家族らとともに訪問国の観光を楽しむ傾向がある
- 比較的年収の高いアクティブシニア層が通常の観光に比べて長期間滞在し、様々な消費を行う
- 訪日目的は観光ではなく大会参加であり、訪日の新たな機会となる
- 競技開催地が広域にわたり、これまで偏りがちなインバウンド受け入れを分散するきっかけとなる

スポーツツーリズム

競技参加に加えて交流や観光を楽しめるよう大会オリジナルの交通パスやシャトルバスを運用し、利便性の向上を図ることで大会参加者の周遊を促進します。
また、大会参加者へのおもてなしとして特別な観光プランを各開催エリアで企画しています。

開催地ごとのおもてなし　　**開催エリアごとの交流の場**

大会専用宿泊サイト

ストレスフリーの移動

交通パス
「WMGオリジナル KANSAI ONE PASS」
「WMG2027 JR関西ワイドエリアパス」



WMG2027関西観光プラン

お土産特産品

世界と地域を繋ぐ

全国の国宝・重要文化財建造物のうち約42%が存在

大会開催協賛社 （2026.10現在）

メジャーパートナー ※アルファベット順

Daiwa House Group / HASEKO / Mizuno / OPTAGE 関西電力グループ / 住友電工 Connect with Innovation / welcia

パートナー ※アルファベット順

asics / Panasonic / sysmex

サポーター ※アルファベット順

DAIKIN / Hankyu / HORIBA / Iwatani / JR西日本 / KANSAI AIRPORTS / KEIHAN / KINTETSU GROUP HOLDINGS / 銀行をこえる銀行へ 紀陽銀行 / KOBELCO 神戸製鋼グループ

Kubota / KYOCERA / MUFG 三菱UFJ銀行 / SMBC 三井住友銀行 / 三井住友信託銀行 / NANKAI / NTT西日本 / 大林組 / オークワ / Daigas Group

レンゴー / りそな銀行 / SHIMA SEIKI / DUNLOP TAKING YOU BEYOND / SUNTORY / TSUNO / ヤマト運輸 / 吉本興業

メディアパートナー

MBS / ABC テレビ / テレビ大阪 / 8 カンテレ / ytv / J:COM / KBS京都 / とくしまがいっぱい 四国放送 / サンテレビ

eo光チャンネル / NIKKEI / 神戸新聞 THE KOBE SHIMBUN / 朝日新聞 / 毎日新聞 / 京都新聞 / 産經新聞社 / 讀賣新聞 / LINEヤフー

R-bies / GRAND FRONT OSAKA / FM802 meet the music on the radio / FM CoCoLo Lifetime Music Station / FM大阪 LAUGH & MUSIC! 85.1 / ラジオ関西 / Station / X / the japan times